

市川市議会議員

石原よしのり通信



12月市議会報告

○ こども医療費助成、高校生まで拡大

2023年4月から、こども医療費助成が高校3年生まで拡大されます。現在は、中学3年生までが、通院、入院とも1回300円の定額負担のみで治療を受けられる制度です。あわせて、一人親家庭のこどもの窓口負担を無料にします。給食費無償化に次ぐ子育て支援策です。市長が代わって、「こどもたちの未来は、市川の未来」という市長の方針が次々に形になっています。

○ 赤ちゃん健やか応援給付金

乳幼児を抱える子育て世帯を応援するために、0～3歳の赤ちゃん1人につき45000円を支給することが決まりました。2023年2月から順次支給されます。対象者は16500人です。コロナ下の物価が高騰している中で、赤ちゃんを育てていくのは大変です。少しでも赤ちゃんのために役立てばうれしいですね。

○ デジタル地域通貨 導入へ

デジタル地域通貨とは、スマホアプリまたはスイカのようなカードを使って、新たに発行する市内だけで使える通貨で買い物ができるしくみです。地域通貨の購入時にプレミアムがつき、買い物時だけではなくボランティア活動や健康活動でもポイントがつくなど、市民にとってはお得に買い物ができ、地域での買い物が増えることで商店も喜ぶしくみです。来年5月から八幡地区で実証実験を行う予定です。その後、全市に広げていくことができれば、地域経済の活性化につながります。

「石原よしのり市政報告会」

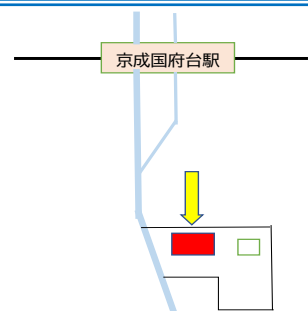
12月議会の報告、市政についての意見交換

日時：1月29日（日）15:00～17:00

場所：市川3丁目第1町会会館「ぱれっとハウス」

（京成国府台駅徒歩3分 春日神社内）

どなたでもお気軽にご参加ください。 入場無料です。



石原よしのり一般質問の主な項目

◎ 給食の質の維持向上

小中学校の給食費無償化で市の財政負担が増えるからと言って、経費節減のために給食の質を落とすことになっては本末転倒です。自校調理で温かくおいしい市川の給食を維持するよう強く求め、教育委員会は質の維持向上を約束しました。



◎ 太陽光発電の普及

災害時の避難所になる公共施設の屋根に太陽光発電設備の設置を進めていくことを確認しました。それに対し一般住宅への設置は、近年はあまり進んでいません。今こそ市独自の助成や情報提供で普及を進めることが必要だと訴えました。市長も普及に向け取り組むと答弁しました。

◎ 市内の住宅ストックの活用

本市では、30代40代の子育て世代の人口流出が目立ちます。住宅事情が大きな要因です。子育て世帯が容易に割安な中古戸建住宅を取得でき、同時に高齢者世帯が容易に便利な場所に住み替えができるよう、割安な中古住宅の流通を活発にする必要を訴えました。市も不動産業界と協定を結び施策を進めていくとの方針を示しました。

◎ ひとり暮らし高齢者の実態と支援策

本市の65歳以上一人暮らし高齢者は、22,000人います。そのうち、子供がなく、親族や近所とほとんど付き合いがない、といった方を把握し、そのニーズに合った支援策を提供することが重要です。そのために本格的な実態調査の必要性を訴えました。支援の充実を期待します。

石原よしのりプロフィール

- 1983年 東京大学卒業（農学部 森林、林業政策専攻）
- 1983年 王子製紙入社、27年間勤務。事業管理、経営企画、海外事業などを担当
- 1990年 米国 Wake Forest 大学大学院卒業（経営学修士 MBA）
- 2011年 市川市議会議員に当選、現在3期目



連絡先

〒272-0826 市川市真間 4-11-C202

TEL : 047-710-0958

FAX : 047-710-0959

メールアドレス : yoshinori.ishihara@gmail.com

ホームページアドレス : <http://ishihara-yoshinori.jp>

